

図書館だより

MAR.2022

No.90

深山書評 2021

2021 年度図書貸出ランキング



独立行政法人国立高等専門学校機構

都城工業高等専門学校

National Institute of Technology(KOSEN), Miyakonojo College

目 次

「ノンフィクションのすすめ」	図書館長 若生 潤一	1
深山書評2021受賞作品発表		3
第1席(深山賞)		
2M 藤原 悠生 「マノーリンの存在」		4
第2席(図書館長賞)		
5C 上釜 斗菜 「『コイ』に寄生する寄生虫たち」		5
第3席(優秀賞)		
2E 久保美沙希 「余命10年」		6
第4席(優良賞)		
2A 下村 紅羽 「『そして、バトンは渡された』を読んで」		7
2C 救仁郷明里 「人間の永遠のテーマ」		8
2E 森 暁輝 「今らしく自分らしく生きるための本」		9
深山書評2021 取り上げられた作品の紹介		10
2021年度図書貸出ランキング		11
新着図書の紹介		13
トピックス・編集後記		15

ノンフィクションのすすめ

図書館長 若生 潤一

私が二十歳くらいの頃でしたが、目のトラブルで自宅から1時間近くかけて大学病院の眼科に通っていたことがありました。病院からの帰り道に商店街の本屋に立ち寄り何気なく本を眺めていたところ、表紙にひも状のウイルスらしきものの写真、



帯に「そのウイルスは人間の眼球を好む」というようなことが書いてある本が平積みされているのが目に入りました。当時、眼の奥が痛いという症状があった私は「まさかね」と思いつつその本（『ホット・ゾーン』リチャード・プレストン著）を手に取り、三分の一近くを立ち読みした挙句、これはとんでもない本を見つけたと確信して買って帰ることにしました。

この本は、主に1976年にアフリカのスーダンやザイールで起きたエボラ・ウイルスによるエボラ出血熱という感染症の流行と、1989年にアメリカの首都ワシントン近郊の霊長類検疫所にいたサル集団において発生したエボラ出血熱を制圧するまでの闘いについて、全て実際に起きたことに基づいて著者が調査を重ねた上で書いたノンフィクションです。特にエボラ出血熱の症状については、その凄惨な有様が余すところなく描かれており、そのような記述が苦手な人には無理に読むことを薦めはしません。しかし、この詳細な記述があるからこそ、アフリカおよびアメリカでエボラ・ウイルスに対峙した患者やその家族、医療関係者や軍関係者が感じた恐怖や絶望について読者が深く思いを巡らせ、共感することができるのではないかと思います。自然は人間に対して必ずしも善良な存在ではないことを思い知らされた一冊でした。この本が私にもたらした影響は大きく、この後十年近く「ノンフィクション以外の本を読むのは時間の無駄である」と考えていた時期がありました。

文学界における「ノンフィクション」というジャンルの正式な定義は知りませんが、ここでは事実を伝えることを目的として書かれた本というくらいに考えてください。私がこれまで読んで印象に残っているものとしては、清朝末期から日中戦争、文化大革命を経て1980年代に至るまでの中国の激動の近現代を

3世代にわたる家族の視点で書いた『ワイルド・スワン』（ユン・チアン著）や、ナチスにより強制収容所に収容されるもかろうじて生還した精神科医の体験記である『夜と霧』（ヴィクトール・E・フランクル著）があります。どちらも極限的状况がいかにして生じ、その中で人々がどう行動したかについて筆者自身の視点から記録した作品です。ノンフィクションにはここに紹介したような出来事に焦点を当てた作品ばかりでなく、特定の人物、社会、場所に焦点を当てた作品など様々なものがあります。我々の日常から遠く離れた社会や出来事について知ることにより、この世界の成り立ちや我々人間がどのような存在であるかについて考える材料をより多く持つことができるのではないかと思います。また、実際の出来事における等身大の人間の行動や感情が書かれていますので、良い作品に出合えば深く心を揺り動かされることもあるでしょう。

何かそこに自分の知らない世界がある、分からない出来事があると気がついたとき、誰しも多かれ少なかれ「どうなっているのだろう」、「何が起きたのだろう」という気持ちが沸き上がるのではないかと思います。問題は、日常生活の中で我々はなかなか未知の世界や出来事について認識する機会がなく、知ることや理解することの喜びを忘れがちであることです。そこで私がお勧めしたいのは、ごく平凡なことではありますが、実際に本屋や図書館に足を運び、ぶらぶらと本の表紙やポップを眺めて歩いて、何か自分の好奇心をそそる本があれば、とりあえず手に取り少し立ち読みをしてみることです。少し読んでこれは面白そうだと感じたら、その本を買うか借りるかしてみましょう。読んでみたい本が図書館に置いていない場合には、図書館の購入リクエストを申請することができますのでご利用ください。学生の皆さんがそれぞれの知的好奇心の趣くままに、ノンフィクションの読書を楽しんでくれることを願っております。



←『ホットゾーン（上・下巻）』

なるほど、表紙をから漂う雰囲気からしてゾクッとしますが、惹きつけられますね。文中の顕微鏡写真も心なしかおどろおどろしく見えませんか。

『ワイルド・スワン（上・中・下）』→

『夜と霧』

ウクライナ情勢が気にかかる今、いずれも様々なものごとに思いを巡らさずにはいられない作品です。



深山書評 2021

受賞作品発表



今回で9回目となる深山書評。昨年コロナ禍による登校自粛のため実施できませんでしたが、今年は2年ぶりに実施することができました。

今回は26作品もの応募があり、学生図書委員4・5年生と図書館長によって厳正な審査が行われました。結果、以下の皆さんが受賞されました。おめでとうございます。表彰はあらためて行う予定です。

ご応募いただいた学生のみなさん、ありがとうございました。

ご支援くださいました国語科の先生方、ありがとうございました。

[第1席] (深山賞)

2M 藤原 悠生 「マノーリンの存在」

[第2席] (図書館長賞)

5C 上釜 斗茉 『コイ』に寄生する寄生虫たち」

[第3席] (優秀賞)

2E 久保美沙希 「余命10年」

[第4席] (優良賞)

2A 下村 紅羽 「『そして、バトンは渡された』を読んで」

2C 救仁郷明里 「人間の永遠のテーマ」

2E 森 暁輝 「今らしく自分らしく生きるための本」

※第4席は応募受付順に掲載しています。

深山賞

「マノーリンの存在」

(E.ヘミングウェイ『老人と海』)

機械工学科2学年 藤原 悠生

八月某日。イヤホンをねじ込み新曲の配信を待つ。今回の曲はある小説をテーマにつくられたようだ。エレキギターがシンプルかつ心地よいリズムを奏でて癖になる。一瞬にしてその世界観へ惹き込まれた。このバンドの作る楽曲は毎度深すぎる。真骨頂は歌詞にあるのだが、案の定さっぱりだった。無理もない。『老人と海』を今初めて知ったのだ。今回の題材となった『老人と海』。YouTubeでは何年か前に投稿されたこれの紹介動画が急上昇欄に載っていた。これは好都合。この題名は内容の予想を悉く裏切っていた。優しく繊細な話を勝手に想像していたが、いざ本編に入ってみれば死闘、死闘、死闘。老人は根っからの戦闘民族。しかも対戦相手は魚。己の船より巨大なマカジキだ。幾日にもわたる力比べで本の半分以上を使い、細部まで描写しているらしい。概要を掴めてから更に興味が膨らんだ。書店へ。一度読み通して気付いた事がある。あの歌はマノーリン視点で詩われていたのだ。

マノーリンは老人をこの上なく慕っている少年だ。漁にもよく共に出た。しかし、長い間不漁の老人は、あいつはもう終わりだと村の衆、少年の両親からも見放されていた。不良になってからはマノーリンを連れていくこともなくなった。一人寮へ向かう老人を見て信念を曲げないたくましい姿に憧れを持ちつつ、報われないことを自分事のように心底悔やんだ。

「手を引かれるままの道」という歌詞からも両者の親交の深さが伺える。

海の上で老人が闘ったのはカジキだけではなかった。孤独、老い、疲労、飢え、睡魔、精神、数多くの要因が老人を苦しめた。格闘中、何度も口から漏れて出たのは「あの子がいればなあ」豪傑で頑固な頭の固いジジイは孤独になってようやく気づいたのだった。

身近な人間が自分にとってどんな存在か、どんな気持ちを抱いているか今一度目を向け直してみてもいいだろう。

図書館長賞

『『コイ』に寄生する寄生虫たち』

(三秋縋『恋する寄生虫』)

物質工学科5学年 上釜 斗菜

皆さんは寄生虫というのをご存じでしょうか？青魚によく入っているアニサキスや世界の人口のうち3割、日本では1割の人が感染しているトキソプラズマ、狐の寄生虫として有名なエキノコックスに代表されるあれです。え？知らない？要するに虫が人の体の中に入って体調不良を引き起こしたり、性格の変化させたり、果てには宿主が自殺するよう操ったりなどの様々な症状を引き起こすという感じのものです。

そして、私が今回紹介する本の名前は「恋する寄生虫」という本です。この本は極度の潔癖症で人間嫌いの主人公と、同じく人間嫌いで視線恐怖症、そしてなぜか寄生虫に詳しいヒロインが主な登場人物です。同じような境遇を持つ二人がお互いに惹かれ合い、人間嫌いを克服するために協力し合うという名前に反して普通に人間が主人公の恋の話です。

しかし、これは序盤の話です。この本はただ甘々なだけの恋愛小説ではありません。そもそもこの時点で寄生虫要素が何一つとしてありません。この本は後半から急にスケールが大きくなります。しっかり寄生虫要素が出てきて、恋と寄生虫が絡み、とても深い作品へと変貌していきます。かといって「寄生虫が地球を滅ぼすからヒロインと一緒に倒す！！」のようなSF作品にはならないのでご安心を。これ以上はネタバレになるので言えませんが、物語の方向性が急変してからの怒涛のスピード感、心に響く結末、物語の進行につれて成長していく二人などなど褒めればきりが無いほどに面白い作品となっています。

文字数の問題で語れないことがたくさんありますが「恋する寄生虫」を読む機会がありましたら、本を読み終えたあとこの書評をもう一度読んでいただけるとまた違う感想が出で来て面白いと思います。最後に、書店で「恋する寄生虫」を見かけることがあれば購入の選択肢の一つに入れていただけると幸いです。

優 秀 賞

「余命 10 年」

(小坂流加『余命 10 年』)

電気情報工学科 2 学年 久保 美沙希

もし、あと 10 年しか生きることができないと余命宣告をうけたら、あなたは残りの時間をどのように使いますか？

私が紹介する本は、小坂流加さんの「余命 10 年」という本です。

主人公である茉莉が不治の病にかかり、余命は後 10 年と宣告されます。残りの時間をどう使うのか、時間がなくなるにつれ、したいことを諦めなければならない辛さ、そんな中での古い友人との再会など、長いようで短い 10 年間の茉莉の生き方が、この本には描かれています。

この作品は、著者である小坂流加さんが主人公のモデルではないかと言われています。そのため、物語がとてもリアルに描かれています。物語の中での主人公の心情や感情、発言などがリアルで人間味がすごくあります。だからこそ、本の内容がずっと入ってきたり、自分も同じ立場だったら同じ気持ちになるだろうなと感じることができました。

全部読み終わった後、言葉に表すことができないくらい切ない気持ちでいっぱいでした。普通に生活できていることがあたり前ではなく、とても恵まれていて、幸せなことなんだなと思いました。そして、これから先、自分の納得がいく、悪い後悔がないような生き方をしたいと心から思いました。この本に出会えて本当に良かったです。

最後に、この作品は、読み終わった後、「しっかり生きよう」と前向きな気持ちになる作品です。気持ちが沈んでいたり、人生に迷ったりしている人などにぜひ読んでほしいなと思います。

優良賞

『そして、バトンは渡された』を読んで」

(瀬尾まいこ『そして、バトンは渡された』)

建築学科2学年 下村 紅羽

「そして、バトンは渡された」私はこの表紙、いや、言葉を見たとき、目を離すことができなかった。周りの本が全く視界に入らない。こんな経験をしたのは初めてである。これがこの本との出会いで、読み始めると夢中になり、いつの間にか、読み終わっていたのだ。

この本に出会ったことで、社会の理不尽さや不公平さ、親に対しての不満で憤ったときの心の持っていき方を学べたような気がする。この本の主人公である優子は十七年の間に七回も家族形態が変わるといふ、誰もが経験しないような境遇の中でも常に笑顔で、自分を不幸であると思ふこともない。優子の考えを知り、人はものの見方や考え方で人生が良くも悪くも変わると確信した。私は家族が変わるといふ経験をしたことがないが簡単なことではないと思ふ。「困った。不幸ではないのだ。」と物語はスタートしている。そのため、私はこの言葉を疑った、この本を読み終えるまでは。血の繋がらない親の間をリレーされながらも出逢う親とそれぞれ家族の形を作り、愛情を注がれた優子を見ていると血が繋がっていなくとも、本当の親子、家族になれると思えた。この物語の中のあらゆる場面に出てくる「ご飯」はキーワードだ。愛情の詰まったご飯たちが鍵となっている。

この本からはたくさんの愛情を感じる事ができ、温もりを感じる事ができた。私はこの本が大好きでお気に入りになった。この本を超える物語に出会う日は来るのだろうか。この本の解説は「そして、今、バトンは渡された。この本を読んだあなたに。」と締めくくられている。私はバトンを受け取って、リレーを続ける。「そして、今、バトンは渡された。読んでくれたあなたに。」とこの文章をきっかけに一人でも多くの方がバトンを受け取ってくれたらいいと思ふ。私はリレーが続くことを願っている。瀬尾まいこさんの本に巡り会う事ができて、本当によかった。

優良賞

「人間の永遠のテーマ」

(夏目漱石『ころ』)

物質工学科2学年 救仁郷 明里

「平生はみんな善人なんです、少なくともみんなふつうの人間なんです。それが、いざというまぎわに、急に悪人に替わるんだから怖いのです。」これは作品の中で先生が語った言葉である。この言葉からわかるように、人間はいつ悪人になるかわからないということをこの作品は訴えていると思う。

先生は信頼する叔父に遺産管理を任せていたが欺かれ、人間不信に陥る。自分を欺いた叔父を憎み、自分だけは大丈夫と思っていた先生だが自分も恋愛で親友を欺き、死に追いやってしまった。自らの裏切り行為により引き起こしたこのことで罪の意識にさいなまれた先生は、最終的に自分もまた自殺という選択をしてしまう。

先生は自分の利益にしか目を向けていなかった。また、学識、容姿、全てに勝てない親友にひとつでも勝ちたいという思いが自分の中に眠っていたもうひとりの自分を覚醒させたのである。自分を欺いた叔父を憎んだ先生だが、金に目がくらんで自分の利益のために動いた叔父と恋人をめぐって親友を出し抜いた先生は全く違わない。まさに、二人ともいざという間に悪人になったのである。

わたしは、こういう時こそ行動する前に一旦よく考えることが大切だと思った。そうすることでうまく自分をコントロールでき、他人や自分を傷つけずに済むのではないか。そういう意味では、先生はそのコントロールに失敗した人だと思う。

「ころ」は祖母に薦められた本である。祖母は、「ころ」はきっと、人生に良い影響を与えてくれると教えてくれた。私は「ころ」を読むたびに、ふと、この言葉を思い出し、何度もこの本を読み返したくなるのだ。

優良賞

「今らしく自分らしく生きるための本」

(水野敬也『夢をかなえるゾウ』)

電気情報工学科2学年 森 暁輝

僕が今回紹介する著書は『夢をかなえるゾウ』テーマは「成功と幸福」です。物語のあらすじは、成功してちやほやされたいが、自分のやりたい事、出来る事に自信のない主人公である〈僕〉(これ以降物語中に出てくる僕には〈〉を付けます)と、浮遊や変身などを使いこなす反面、ぐうたらで関西弁全開なうさん臭い神「ガネーシャ」が出会い、そのガネーシャの出す、一見目標とは無関係そうな課題をこなすことで〈僕〉が成長していく物語です。

僕がこの本で注目してほしいところは二つです。一つ目は会話の構成の仕方です。この本では所々入る語り以外はほとんど〈僕〉とガネーシャの問答で構成されています。会話と書きましたが、どちらかというとなガネーシャのプレゼンのような感じで、偉人達(過去に自分が育てたといっている)の名言やそれに加えて、お世辞にも面白いとは言い難いギャグなどを混ぜながらユーモアあふれるやり取りを繰り返し広げます。時々見せる真面目な一面や常軌を逸した行動も注目です。

二つ目は上手く交えられた刺さる正論です。ほとんど冗談ばかり言ってそうなのガネーシャですが、課題の話や〈僕〉がガネーシャに反論しようとしたとき、名言にまぎれて、読んでいるこっちも上手い返しが思いつかないような鋭い一言・質問を投げかけてきます。その一つ一つが自分はどう行動していたかを少し見返すキッカケになっていて、「自分の靴を磨く」「早く帰宅する」など、何の関係があるのかわからない課題もガネーシャの話を読んでいると(…まあ、確かにそれはそうだな)と感じ、不思議とつながっているように見えてきます。

この本は同じ本を何度も読み返すタイプの人におすすめです。興味のある方はぜひ読んでみてください。

深山書評2021

取り上げられた作品の紹介

カンザキイオリ	『あの夏が飽和する。』
瀬尾まいこ	『あと少し、もう少し』
山田宗樹	『百年法』
吉田桃子	『ラブリィ！』
原田マハ	『たゆたえども沈まず』
ぺいんと	『だから僕は大人になれない』
阿部智里	『烏に単は似合わない』
青海野灰	『逢う日、花咲く。』
遠藤誉	『チャイナ・セブン〈紅い皇帝〉習近平』
東野圭吾	『ブルータスの心臓』*
瀬尾まいこ	『そして、バトンは渡された』
クオン・ラビン	『家にいるのに家に帰りたい』
エーリッヒ・フロム	『愛するということ』
宮部みゆき	『過ぎ去りし王国の城』*
夏目漱石	『ころ』*
R・J パラシオ	『ワンダー』
アガサ・クリスティー	『オリエント急行殺人事件』*
小川洋子	『博士の愛した数式』*
伊坂幸太郎	『逆ソクラテス』*
小坂流加	『余命10年』*
水野敬也	『夢をかなえるゾウ』*
ジョン・ボイン	『兄の名は、ジェシカ』
ひすいこたろう・大嶋啓介	『前祝いの法則』*
アーネスト・ヘミングウェイ	『老人と海』*
三秋緋	『恋する寄生虫』

※順不同にて掲載しています。

*：本校図書館に蔵書があります。

2021年度 図書貸出ランキング

2021年度、皆さんにとってどのような1年間だったでしょうか。後半は、まともや登校自粛となり、自分と向き合う時間が多かったことと思います。

来年度も、本が皆さんの傍にあり、何某かの助けや息抜きとなりますように。

専門科目の図書

全体の順位	貸出回数	タイトル	著者
1	58	分析化学	阿藤質
2	24	基本有機化学反応：理論と実験	岡田功
3	20	機械技術者のためのマイコン制御入門	山之上寛二[ほか]
10	9	有機電子論解説：有機化学の基礎	井本稔
13	8	スパッタ薄膜：基礎と応用	小林春洋
13	8	Duo3.0: The most frequently used words 1600 and idioms 1000 in contemporary English	鈴木陽一 [企画・著]
13	8	化学工学実験	東畑平一郎[ほか]
21	7	超電導工学	山村昌[ほか]
21	7	精解機構学の基礎	佃勉
21	7	トコトンやさしい薄膜の本	麻蒔立男
21	7	魔法のスイッチサイリスター	柴崎功
21	7	新編塑性加工学	大矢根守
21	7	木質構造設計規準・同解説：許容応力度・許容耐力設計法	日本建築学会[編]
21	7	有機化学演習：基本から大学院入試まで	山本学[ほか]

一般科目の図書

全体の順位	貸出回数	タイトル	著者
13	8	1；基礎物理学演習	永田一清[編]
21	7	名問の森物理；波動2・電磁気・原子、力学・熱・波動1.	浜島清利

資格・進学・就職の図書

全体の 順位	貸出 回数	タイトル	著 者
4	14	これだけ！甲種危険物試験合格大作戦！！	福井清輔[編著]
4	14	絶対決める！甲種危険物取扱者完全攻略問題集	L&L 総合研究所[編著]
6	13	2021 年度版；これが本当の SPI3 だ！	SPI ノートの会[編著]
7	11	4；公式 TOEIC listening & reading 問題集	Educational Testing Service
7	11	TOEIC L&R テスト文法問題でる 1000 問	TEX 加藤
9	10	新 TOEIC TEST 出る単特急金のフレーズ	TEX 加藤
13	8	編入の線形代数徹底研究：大学編入試験対策： 基本事項の整理と問題演習	桜井基晴
13	8	大学編入のための数学問題集	碓氷久[ほか]
13	8	試験にココが出る！乙種第 4 類危険物取扱者教科書 +実践問題	ノマド・ワークス
21	7	TOEIC テスト公式問題集：新形式問題対応編	Educational Testing Service

文芸書などの教養図書

全体の 順位	貸出 回数	タイトル	著 者
10	9	スタンフォード式最高の睡眠	西野精治
10	9	推し、燃ゆ	宇佐見りん
13	8	パンダ	R&D. モリス
21	7	日清・日露戦争と国際関係：明治時代 II	鍋田吉郎シナリオ 吉田健二漫画
21	7	チーズの科学：ミルクの力、発酵・熟成の神秘	齋藤忠夫
21	7	ケーキの切れない非行少年たち	宮口幸治
21	7	逆ソクラテス	伊坂幸太郎
21	7	52 ヘルツのクジラたち	町田そのこ

新着図書がたくさん届いています！

昨年の暮れから文芸書を中心に 500 冊近くの図書が届いています。

年始に発表される芥川賞・直木賞、そして本屋大賞ノミネート作品と、この時期は毎年文芸書が充実するのですが、今年はそれに加えて後援会からの補助をいただいて、さらに多くの図書を揃えることができました。

「新着図書」コーナーには収まりきらなかったもので、館内各所にも配架しています。新着図書は赤いシール（●）が目印です。どうぞお気に入りの1冊を見つけてください。新着図書の一部をご紹介します。

新着図書（ハードカバー）	
Noise（ノイズ）：組織はなぜ判断を誤るのか？上	D. カーネマン 他
Noise（ノイズ）：組織はなぜ判断を誤るのか？下	D. カーネマン 他
命のひとつとき：四季の中で自然を味わう	H. アボンシリ
データサイエンスリテラシー：モデルカリキュラム準拠	数理人材育成協会[編]
だれでもデザイン：未来をつくる教室	山中俊治
じつは私たち、菌のおかげで生きています ：種麹屋さん4代目社長が教える、カラダよろこぶ発酵と微生物の話	今野宏
あなたがあなたであることの科学：人の個性とはなんだろうか	D. J. リンデン
人は聞き方が9割：1分で心をひらき、100%好かれる聞き方のコツ	永松茂久

新着図書（短編小説・ショートショート）	
静かな事件（韓国文学ショートショート）	バク・スリン
ニューヨーク製菓店（韓国文学ショートショート）	キム・ヨンス
夜よ、ひらけ（韓国文学ショートショート）	チョン・ミギョン
電話をしてるふり：BKB ショートショート小説集	バイク川崎バイク
なんらかの事情	岸本佐知子
ショートショートドロップス	新井素子[編]
英語で味わうシャーロック・ホームズ名作短編集	A. コナン・ドイル
文豪たちが書いた「猫」の名作短編集	彩図社文芸部[編纂]
文豪たちが書いた「犬」の名作短編集	彩図社文芸部[編纂]
新編悪魔の辞典	ピアス
柿の種	寺田寅彦
パパの電話を待ちながら	J. ロダーリ
まだまだ2分間ミステリ	D. J. ソボル

新着図書（岩波ジュニアライブラリー）	
自分を変えたい：殻を破るためのヒント	宮武久佳
数理の窓から世界を読みとく：素数・AI・生物・宇宙をつなぐ	初田哲男 他[編著]
親を頼らないで生きるヒント：家族のことで悩んでいるあなたへ	コイケジュンコ
AIの時代を生きる：未来をデザインする創造力と共感力	美馬のゆり
俳句のきた道：芭蕉・蕪村・一茶	藤田真一
食べ物から学ぶ世界史：人も自然も壊さない経済とは？	平賀緑
確かめてナットク！物理の法則	J.ヘルマンズ
コミュニケーション力を高めるプレゼン・発表術	上坂博亨

新着図書（シリーズもの）	
アガサ・クリスティー ハヤカワクリスティー文庫 102 作品	A.クリスティー
星新一 新潮社文庫 45 作品	星新一
赤毛のアンシリーズ 全 12 作品	モンゴメリ
新潮社 Star Classics 名作新訳コレクション 全 80 作品	
銀河英雄伝説 シリーズ全 10 作品	田中芳樹

新着図書（ブルーボックス）	
生命を守るしくみオートファジー：老化、寿命、病気を左右する精巧なメカニズム	吉森保
焼酎の科学：発酵、蒸留に秘められた日本人の知恵と技	鮫島吉廣 他
地球の中身：何があるのか、何が起きているのか	廣瀬敬

新着図書（資格・就職・進学）	
線形代数の基礎：大学教養	市原一裕
編入の微分積分徹底研究：基本事項の整理と問題演習	桜井基晴
編入の線形代数徹底研究：基本事項の整理と問題演習	桜井基晴
朝日キーワード就職	朝日新聞社[編]
就活の教科書これさえあれば。：効率よく「内定」獲得 2024 年度版	竹内健登
最新！SPI3【完全版】 2024 年度版	柳本新二
これが本当のSPI3だ！：主要3方式〈テストセンター・ペーパーテスト・WEB テスティング〉対応 2024 年度版	SPI ノートの会[編著]
日建学院 1 級建築士分野別厳選問題 500+125	日建学院教材研究会[編著]

【トピックス】

開架書庫を模様替え中です

登校自粛でさびしい日々が続く図書館。しかし、この期間を活かさなくては、と思い、現在開架書庫の模様替えを行っています。書架の棚板の高さを少し低くして本を取りやすくしたり、コーナー展示を移動させたり…と試行錯誤しながらの模様替えです。当初のレイアウトに慣れていた方は、はじめ戸惑われるかもしれませんが、本を探しやすくすることを心掛けましたので、きっとすぐに慣れていただけていると思います。皆さんが登校される日を楽しみに待っています。



やっと新しくすることができました



先輩方から大切に読み継がれてきた本。けれども、長い年月貸し出しをするうちにどうしても劣化してしまいます。特に劣化が目立ち、現在も人気のシリーズを、今回思い切って新しく買いなおしました。買いなおした本は装丁が新しくなっているものも多く、新鮮な印象を受けます。まだまだ劣化が目立つ本がたくさんありますが、今後も少しずつリニューアルできたら良いと思っています。「この本を新しくしてほしい」というリクエストも受け付けています。どうぞお声掛けください。

編集後記

○深山書評 2021 は多くの方々のご協力により実施することができました。○募集をお知らせするポスター挿絵は、本校学生の手描きによるものです。とてもあたたかで可愛いポスターになりました。○選考に携わった皆さんは、冬休み期間中に一生懸命採点してくださいました。○国語科の先生方の強力なバックアップが今回大きな助けになりました。○また来年もたくさんご応募をいただき、読書のきっかけの種を蒔いていただきたいと思います。皆様どうもありがとうございました。

図書館からのお知らせとお願い

令和3年12月に本校図書館利用規則が改正され、館内のいくつかの施設にて飲物等をとることができるようになりました。

許可される飲物はペットボトル、水筒、キャップ付きの缶など、ふたが閉まる容器に入れた飲物に限られます。くれぐれも許可されていない施設にて菓子等を食べることのないようにしてください。

こちらの規則が守られない場合、飲物・食物をとることを一時的に制限します。

館内で快適に過ごせるよう、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

階	施設名	飲物を飲む	食物を食べる
2	開架書庫・閲覧室	○	×
	第2閲覧室	○	×
	ICT自習室	○	×
	ミーティングルーム	○	×
1	ICTみやまルーム	×	×
	CALL教室	×	×
	メディアホールギャラリー	×	×
	コーニングスペース	○	○

※ 館内のごみ箱に、飲食物のごみは捨てられません。必ず持ち帰ってください。

